

## 第26回 福岡県地域エネルギー政策研究会 日下座長 総括コメント

- 本日、第26回福岡県地域エネルギー政策研究会を開催し、検討テーマを「長期エネルギー需給見通し（エネルギーミックス）を踏まえた今後の地方の取組み」、サブテーマを「水素エネルギーの利活用拡大の実現に向けて」として、議論を行いました。
- 今回の研究会では、最初に、経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギーシステム課 水素・燃料電池戦略室の藤岡課長補佐から、「水素社会実現に向けた取組みと今後の展望」と題して、御講演いただきました。講演では、水素社会実現に向けた供給側、需要側のそれぞれの取組みや、情勢の変化を踏まえた各分野における検討事項など、今後の方向性について御教授いただきました。今後の地方の取組みを考える上でも、貴重な情報を御提供いただけたと、藤岡課長補佐には感謝しております。
- 次に、国立大学法人九州大学の佐々木委員から、「九州大学における水素・燃料電池分野の研究動向」について、国内外及び地域の動向等を踏まえた九州大学における取組みや、現状と今後への政策提言として課題について、情報提供していただきました。
- 次に、事務局から「福岡県の水素エネルギーに関する取組み」について、説明がありました。
- 次に、これらの講演・報告を基に、水素エネルギーの利活用拡大に向けた、地方の取組みについて委員間で討議を行いました。
- 最後に、当研究会の今後の活動（案）について、事務局から説明がありました。
- 各委員からの積極的な意見・助言により、「長期エネルギー需給見通しを踏まえた今後の地方の取組み」として、水素エネルギーの利活用拡大の実現に向けた取組みの方向性が示されましたので、県をはじめ各主体におかれては、今後の取組みに活かしていただきたいと思いますと考えております。